



## 2023 年度新収蔵作品展 Present for You

わたしからあなたへ みんなから未来へ  
2023.12.21- 2024.2.18

町田市立国際版画美術館企画展示室2

### ごあいさつ

1987年4月の開館以来、町田市立国際版画美術館は版画を中心とするユニークな美術館として、国内外の優れた版画作品と資料を収集・保存し、版画をテーマとする展覧会を開催してきました。また初心者から経験者まで幅広い層を対象とした実技講座や、各種の版画制作用具を備えた工房とアトリエを一般に開放、「見る楽しみ」と「作る楽しみ」を総合的に紹介しています。

当館の活動を支えるコレクションは、「古今東西の版画の歴史が多面的・総合的に理解できるコレクション」を目指し、継続的な調査・研究活動のもとに形成されてきました。その活動を評価していただき、近年は寄贈作品の点数も増加しています。本展では22年度から23年度上半期に新たに収蔵された445点の中から主な作品約100点をご紹介します。

「新収蔵作品展 Present for You —わたしからあなたへ/みんなから未来へ」とは、当館に収蔵される作品が、人から人へと伝えられてきた貴重な文化遺産であるとともに、市民ひとりひとりから未来へのプレゼントでもあるという気持ちをこめたタイトルです。当館では今後も継続して収集・展示活動につとめ、コレクションを大切に守り伝えていきたいと考えています。

最後になりましたが貴重な作品をご寄贈くださいました皆様、収集活動にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

2023年12月 町田市立国際版画美術館

リストの項目は下記の通り:

作者・題名・英文題名・制作年・サイズ(mm)・技法・ご寄贈元

### 谷中安規 TANINAKA Yasunori

1897(明治30)-1946(昭和21)

奈良県初瀬町(現・桜井市)出身、1930～40年代に創作活動した版画家。

1922年(大正11)に永瀬義郎著『版画を作る人へ』を読んだことから版画制作を始め、28年(昭和3)に日本創作版画協会展に出品、32年(昭和7)、料治熊太を訪ね、『白と黒』『版画芸術』に版画を掲載した。佐藤春夫や内田百閒と親しく交流し、挿絵も制作した。仏教や朝鮮民話などの伝統的・土着的イメージと、新東京に出現した都市景観や機械文明などの近代的イメージを混在させた幻想的木版画を制作した。

『街の本』は1930年代初期の東京の夜の光景を幻想的に表したシリーズで、谷中の代表作の一つ。数種の異なる摺りが存在する。出品作は表面にニスを塗るなど手の込んだ仕上げが確認できる。

『街の本』 Book of City

1933(昭和8)

- ①シネマ Cinema  
180×232 木版、手彩色
- ②ムーラン・ルージュ Moulin rouge  
180×230 木版、手彩色、裏彩色
- ③渋谷 Shibuya  
178×230 木版、手彩色、裏彩色
- ④動坂 Dozaka  
190×242 木版、手彩色、裏彩色

小野近士氏より寄贈

### 勝平得之 KATSUHIRA Tokushi

1904(明治37)-1971(昭和46)

戦前戦後に活動した秋田市出身の創作版画家。郷土特有の風俗、行事、風景などに取材した木版画を制作し、土俗性の強い親しみやすい作風が支持された。

版画制作は1924年(大正13)頃に独学で始め、1929年(昭和4)に日本創作版画協会第9回展に多色摺り木版画2点が初入選、本格的に版画制作に取り組むようになった。以降、戦前は日本版画協会、国画会、光風会などの美術団体展に出品し、ひたむきに版画制作に取り組んだ。帝展、新文展にも入選を重ねた。戦後は日本版画協会、国画会、日展などで活躍、秋田市文化功労章、秋田県文化功労章などを受章。1935年(昭和10)、建築家ブルーノ・タウトが秋田を訪れた際に案内した。

『秋田風俗十態』 Akita's Ten Customs

1935(昭和10)～1938(昭和13) 木版

- ①彼岸花(造花売り) Cluster Amaryllis  
(Artificial Flower Seller) 378×272
- ②梵天(玩具売り)  
Bonten (Toy Seller) 377×273
- ③草市 Flower Market 376×270
- ④笹飴 Bamboo Candy 381×273
- ⑤犬コ市 Puppy Market 380×272
- ⑥あねこ(首人形売り) Young Woman  
(Neck Doll Seller) 380×272
- ⑦雛売り(土人形売り) Hina Doll Seller  
(Clay Doll Seller) 380×274
- ⑧鹿島流し Kashima Nagashi (Sending  
God) 380×272
- ⑨竿灯(七夕祭り) Kanto (Tanabata  
Festival) 380×273
- ⑩天神様 Tenjin 380×274

勝平良治氏より寄贈

### 笠木實 KASAGI Minoru

1920(大正9)-2018(平成30)

群馬県桐生市出身の洋画家。生涯にわたり銅版画を制作した版画家でもある。

桐生中学校在学中の1935年(昭和10)の夏休みに、東京の西田武雄主宰のエッチング研究所に通い、プレス機も購入して銅版画制作を開始。1937年(昭和12)東京美術学校油画科に入学、在学中から日本版画協会や国画会の展覧会、日本エッチング作家協会展にエッチングを出品、銅版画家としての地歩を固めた。戦後は油彩画制作に軸足を移し、春陽会に出品、1955年(昭和30)に会員となった。

出品作品は、数少ない戦前の銅版画作品。1930年代に日本の銅版画制作を主導した西田の下での、線描で描き込んだエッチングの特徴が認められる人物像である。

少女像 A Girl

1937(昭和12) 187×149 エッチング

少女像 A Girl

1940(昭和15)頃 182×137 エッチング

深川さん Lady FUKAGAWA

1940(昭和15)頃 485×365

エッチング、ドライポイント

エチュード(横臥裸婦 2)  
Etude (Recumbent Nude 2)  
1938(昭和13) 133×179 エッチング

裸婦 Nude  
1938(昭和13) 242×182 エッチング

### 笠木ゆり氏より寄贈

### 招瑞娟 ZHAO Ruijuan

1924-2020

神戸華僑として幼少期から日本に住み、中華同文学校附属幼稚園の教員だった。1943年に魯迅の木刻運動に共鳴した李平凡が作った「神戸新集体版画協会」に参加し、版画制作を始めた。戦後1946年に女性が東京美術学校に入学できるようになると、1期生の特別学生として油画科に入学。

1951年に神戸に戻り、中華同文学校教員の傍ら、日本版画協会で作品を発表した。1988年には北京の中国美術館で個展を開催した。1954年の太平洋ピキニ環礁沖水爆実験・第五福竜丸事件を期に平和や原水爆反対を主題に描き続け、テーマは公害・環境問題と人権にも発展していった。コルヴィッツ、丸木夫妻、上野誠からの影響も大きい。

凝視 Stare  
1962(昭和37) 360×760 木版

求む Wishing  
1960(昭和35) 376×522 木版

石炭かつぎ Coal Carrier  
1956(昭和31) 380×530 木版

漁船と子供Ⅱ  
Fishing Boat and Children II  
1963(昭和38) 345×545 木版

漁船と小孩  
Fishing Boat and Children  
1963(昭和38) 345×545 木版

戦争(Ⅲ) War III  
1969(昭和44) 355×585 木版

男 A Man  
1970(昭和45) 760×300 木版

ヒ素ミルクの中毒患者  
Arsenic Milk Poisoning Patient  
1978(昭和53) 600×400 木版

環境汚染(公害で手首足首のないサル)  
Environmental Pollution (Monkeys  
without Hands and Feet Due to Pollution)  
1991(平成3) 600×400 木版

### 詹永年 ZHAN Yongnian

1926 生まれ  
福建省出身、招とともに1946年に東京美術学校油画科に特別学生として入学し、その後招と結婚。ともに神戸に戻り、中華同文学校の教員をつとめながら版画を制作し、日本版画院で発表した。

漁船 Fishing Ship  
1978(昭和53) 530×380 木版

### 詹永年氏より寄贈

### 若林奮 WAKABAYASHI Isamu

1936(昭和11)-2003(平成15)

現在の町田市原町田出身。1959年東京藝術大学卒業。戦後日本を代表する彫刻家のひとり。鉄を中心とした素材を用いて地形や植物、自然現象、空間、時間をテーマに制作した。版画やブック・アートも多数発表、若林の活動を概観するうえで欠かせない表現手段である。

《52記-6》は『52記』シリーズのNo.6に手彩色をほどこしたもの。《Isamu Wakabayashi(1992-N.Y.-)》はニューヨークにあったアキライケダギャラリーで1992年に「Isamu Wakabayashi Sculpture: New Works」展が開催された際に発行されたカタログを用いたブック・アート。表紙にドローイングとメタルコラージュ、裏表紙にドローイングが施されている。限定30部で作品ごとに異なる図柄となっている。

Isamu Wakabayashi(1992-N.Y.-)  
1992(平成4) 310×262×10  
メタルコラージュ、ドローイング

『52記』 6  
6, from *An Account of 52*  
1997(平成9) 148×99 エッチング、手彩色

### 井田照一 IDA Shoichi 1941(昭和16)-2006(平成18)

京都市出身。1965年京都市立美術大学大学院修了後、国内では京都を拠点とした現代美術家。垂直と水平のエネルギーが出会う接点である「表面」に着目し、「Surface is the Between(表面は間である)」をコンセプトとした。多様なジャンルで国際的に活躍し、現代版画の展開と深化に貢献した。『Red Lotus in Well-Locus Sutra』は、法華経(Lotus Sutra)に着想を得て、蓮(Lotus)と軌跡(Locus)のイメージを重ねた。蓮の花が開花・回転するチャクラのイメージは垂直のエネルギー、表面に水平部を作り出す井戸は垂直のエネルギーの積み重なりを意図している。表面や水平・垂直への意識を反映し、技法は雁皮紙の両面刷り、スピットバイトなど複数の技法を併用。赤い色彩は両界曼荼羅から着想を得ており、「血」「肉体」をイメージしている。

『Red Lotus in Well-Locus Sutra』  
1991(平成3) 765×560  
ソフトグランドエッチング、エッチング、スピットバイト、ドライポイント、シーヌコレ(雁皮紙)

### 榎倉康二 ENOKURA Koji

1942(昭和17)-1995(平成7)

東京都出身。1968年東京芸術大学修士課程修了。1970年第10回日本国際美術展(人間と物質)で注目され、78年のヴェネツィア・ビエンナーレで国際的に評価された。未加工の素材を空間に提示する「もの派」のひとりに数えられる現代美術家。

榎倉の版画への関心は特定のイメージを写すことよりも接触によって意図せず「写る」ことにあった。刷る行為によって、スクリーンプリントの版を通じて支持体にインクがのり、時間が経過しインクが紙や布に浸透していく。こうした液体が物体に浸透する「しみ」の現象を追求し、しみから発生する「にじみ」によって時間の経過を視覚化することを試みた。出品作も含めたこうした作品群は、80年代後半から榎倉の制作が「干渉」のコンセプトに展開し、生まれたものである。

干渉 TV No.1  
Interference TV No.1  
1989(平成元) 650×500 スクリーンプリント

## Work

1987(昭和 62) 660×980 スクリーンプリント

## 2 つのしみ No.2

Two Stains No.2

1995(平成 7) 760×1100 スクリーンプリント

## 池田俊彦 IKEDA Toshihiko

### 1980(昭和 55)生まれ

東京都出身。2003 年多摩美術大学卒業、2005 年東京藝術大学大学院美術研究科(版画研究室)修了。池田は緻密な銅版画の古典技法に定評がある版画家である。自身の祖母の認知症がきっかけのひとつとなり、「老い」や「生と死」をテーマに制作を行っている。本作で描かれているのも、「死を拒絶して何億年も生き続けた人間の姿」であり、制作を通じて「老い」の果てにあるものに思考を巡らせている。

近年はアーティスト・イン・レジデンス施設である長崎県の南島原市アートビレッジ・シラキノのエデュケーターとしても活動、版画の普及にも旺盛に取り組んでいる。

### 笑う黄金種族 騎士と死と悪魔

Smiling Golden Race - Knight, Death and Devil

2017(平成 29) 1000×500

エッチング、雁皮紙

長谷見 雄二氏より寄贈

## 門坂流 KADOSAKA Ryu

### 1948(昭和 23)-2014(平成 26)

京都出身の版画家、イラストレーター。1968 年、東京藝術大学油絵科入学。1973年から鉛筆・ペン画を始める。1985年頃よりエンレーヴィングでの制作を始め、日本におけるこの技法の第一人者として活躍した。金属版に刃物で直に線を刻むエンレーヴィングは習得が難しく、職人的な修行が必要とされる。しかし門坂は全くの独学で、ペン画の線の表現を基本に試してみたらできてしまった、と語っている。門坂は幼い頃から水の流れや炎の形の変化などをあかず眺めていたという。とらえようとしてとらえられない粒子の運動を描きたいと願った門坂にとって、線の集積による表現であるペン画やエンレーヴィングは理想的な技法であった。出品作は門坂の旧友が長年大切に保管してきた作品をご寄贈いただいたもので、ペン画の代表作を精選した画集『風

力の学派』(1988年刊)掲載作から2000年代の水彩による繊細なドローイングまでの7点。

前期展示 2/21~1/21

[窓から空] [Sky from the Window]

1988(昭和 63)以前 253×177 ペン

[海景] [Seascape]

1988(昭和 63)以前 200×268 ペン

[オークの巨木] [Giant Oak Tree]

2008(平成 20) 300×300 水彩

黒の教会の俯瞰図、ルーマニア・ブラショク

Bird's-eye View of the Black Church in Braşov

1988(昭和 63)以前の原画を再制作

140×198 ペン、墨

後期展示 1/23~2/18

[水流] [Stream]

1988(昭和 63)以前 273×200 水彩

[砂漠の植物] [Desart Plants]

1988(昭和 63)以前 250×335 ペン

聖母子(ラファエロによる)

Madonna and Child with St. John the Baptist

2001(平成 13) 260×180 鉛筆

渡邊ひさ江氏より寄贈

## 藤田修 FUJITA Osamu

### 1953(昭和 28)生まれ

神奈川県出身。1979 年、多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。写真製版による銅版画、さらに 90 年代後半からフォトポリマーグラヴェールの制作を行う。絵画やオブジェも手がける。1990 年、日本国際美術展プリチストン美術館賞、1994 年神奈川県美術展神奈川県立近代美術館賞受賞。

印刷など実用分野で広く利用されるフォトポリマーは紫外線で硬化する合成樹脂で、フォトポリマーグラヴェールはそれを版に用いた凹版画である。藤田の手法は絵や写真をポジフィルムにおこし、紫外線で版に密着露光したのち水洗いし、再度紫外線で表面を硬化させる。露光は一度限りで、繰り返し版に手を入れることは基本的にできず、露光時間の微妙な違いが表現に大きな影響を与える。この素材特有の柔らかく深みのある黒が特徴である。

『TORSO』より will

will, from TORSO

2007(平成 19) 420×295 フォトエッチング、アクアチント、ルーレット、フォトポリマーグラヴェール

One day

2014(平成 26) 242×415

フォトポリマーグラヴェール、ドライポイント

corridor 2015

2015(平成 27) 242×415

フォトポリマーグラヴェール、ドライポイント

作家より寄贈

## ヤン・フォス Jan VOSS

### 1936 生まれ

パリ在住のアーティスト。ドイツ・ハンブルクに生まれ、1956 年からミュンヘン美術アカデミーで絵画を学び、1960 年に拠点をパリに移す。60 年代のフランスで展開した「フィギュラシオン・ナラティブ(物語的具象)」運動に加わり、グラフィティを思わせるデフォルメされた人物や動物を自由な筆致で描いた。後年は具象から離れ、様々な色彩と形体をもつ有機的なモチーフが絡み合うモザイク状の画面を作り出した。

フォスは 1980 年代から絵画以外の新しい表現媒体に取り組むようになり、現在では版画、彫刻、セラミックなど幅広い作品を手がけている。出品作はそうした時代に制作された多色刷り木版画の大作。同一の版を用いた複数のバリエーションが存在し、本作は鮮やかな赤で刷られている。

パルターージュ1 Partage I

1990 1200×1600 木版

ヒルゲートギャラリーより寄贈

## ヨルク・シュマイサー

### Jörg SCHMEISSER

1942-2012

ドイツ出身の版画家。ハンブルク造形美術大学でパウル・ヴンダーリッヒに学ぶ。1968 年京都市立芸術大学留学、72 年ドイツ帰国後も定期的に日本に滞在し制作と発表を行った。78 年、キャンベラ美術学校(現オーストラリア国立大学)に招かれ、以降キャンベラを活動の拠点とした。「旅する

版画家」と呼ばれ、世界各地を旅した経験と深い思索を、卓越した素描力と版画技術で銅版画に表現した。2018年、当館で大規模な回顧展を開催。

シュマイサーの生涯にわたるテーマが「変化」である。銅版画で版を完成させていく過程における段階(ステート)、刷りの段階でのインクを加減や色の重ね方など、銅版画という技法自体から生まれる「変化」と、変化の様相という主題が結びつけた作品は版画だからこそ可能な表現である。

#### 自画像 Selfportrait

1987 250×250 フォトエッチング、エッチング

#### 『彼女は老いていく』より

From *SHE GROWS OLD/ SIE WIRD ALT*  
1967-68 505×360

エッチング、アクアチント、ドライポイント

#### 『変化 I 』

*CHANGES I/ ZUSTÄNDE I*

1977-78 490×370(紙)

①フォトエッチング、ソフトグラウンド、ドライポイント、エッチング

②フォトエッチング、ソフトグラウンド、ドライポイント、エッチング、アクアチント

③ドライポイント、ソフトグラウンド、アクアチント、エッチング

④ドライポイント、ソフトグラウンド、アクアチント

⑤ソフトグラウンド、アクアチント、エッチング

⑥ソフトグラウンド、アクアチント、エッチング

⑦ソフトグラウンド、アクアチント

#### 『京都清水寺』より

From *KIYOMIZU KYOTO*

1979-80 415×600

エッチング、アクアチント、ディープエッチング

①冬 Winter

②春 Spring

#### ベニス Venice

1995 755×980 エングレーヴィング

#### 日記と風景 Diary Landscape

1972 220×495 エッチング、アクアチント

#### 日記とかささぎ Diary with Magpie

1978 495×640

エッチング、アクアチント、ドライポイント

#### 日記と貝 Diary and Shells

1978 495×615

エッチング、ソフトグラウンド、アクアチント

#### 日記とホガース『放蕩者一代記』

Diary and detail from the *Rake's Progress*

1979 495×615

エッチング、アクアチント、フォトエッチング

#### 日記とハンブルク

Diary and Hamburg

1983 490×635 エッチング、アクアチント

#### 日記と百の蕾 Diary and 100 Buds

1984 480×605 エッチング、アクアチント

#### ラダックとザンスカールのスケッチ

Sketches of Ladakh and Zanskar

1985 400×500 エッチング、アクアチント

#### 日記とジミーズ島

Diary and Jimmy's Islet

1988 490×615 エッチング、アクアチント

#### 日記と箱 Diary and Box

1997 500×620 エッチング、アクアチント

#### 日記と銀杏の葉

Diary and Ginkgo leaf

1997 475×600 エッチング、アクアチント

#### 日記とアンコール Diary and Angkor

2007 450×590 エッチング、アクアチント

#### 日記とローズデール海岸のかけら

Diary and Rosedale Beachbits

2001-10 475×595 エッチング、アクアチント

#### デーヴィス基地附近 I

Near Davis Stations I

2000 495×615 アクアチント

#### 氷山の道 Iceberg Alley

2002 614×983 アクアチント

#### モーソン基地 Mawson Station

2001-03 615×1958

エッチング、アクアチント、ソフトグラウンド

#### 『古事記』のためのスケッチ

Sketches for KOJIKI

1970 360×475 エッチング、アクアチント

#### 『古事記』より

From *WOODCUT FOR KOJIKI*

1970(昭和45) 485×295(紙) 木版

①スサノヲの乱行

Orgies of Susanoo

②天の岩戸に隠れるアマテラス

Amaterasu hiding herself in Amano Iwato

③アメノウズメの熱演

Ame-no-Uzume Performing Passionately

④戸口へおびき寄せられるアマテラス

Amaterasu is taken out of the Cave with the Mirror

#### 『中国』のためのスケッチ

Sketches for *CATHAY*

1975 495×640

ソフトグラウンド、エッチング、アクアチント

#### 『中国』<sup>キャセイ</sup> CATHAY

1976 ソフトグラウンド、アクアチント他

①鳳凰 The Phoenix are gone... 323×298

②幽遠 Our mind is full of sorrow... 392×292

③月 The Moon 394×285

④蝶 The paired butterflies... 396×297

⑤女官 And she was a courtesan... 396×298

⑥老兵 Who brought this to pass... 370×298

⑦追想 Now I remember... 394×298

⑧手紙を送る And send it 344×296

#### 故宮への入口、北京

Enter the Forbidden City. Beijing

1981 820×790

ソフトグラウンド、アクアチント、エッチング

敬子シュマイサー氏より寄贈

2023年12月21日発行

町田市立国際版画美術館

〒194-0013

東京都町田市原町田 4-28-1

3,000部作成、1部あたりの単価 12円

(職員人件費を含みます)